

情報通信が支える次世代の ITS 講演概要

タイトル: SIP「自動走行システム」

講演団体: 内閣府

平成 26 年度より、府省連携で、基礎研究から実用化までを見据えた一貫通貫の研究開発に取り組む戦略的イノベーション創造プログラム(略称 SIP)が創設された。

SIP のテーマのひとつである「自動走行システム」(略称 SIP-adus)では、交通事故死傷者低減の国家目標達成を目標として、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックを一里塚に置き自動走行システムの実用化を目指して開発を進めている。

自動走行システムの実現のためには、自律系システムの技術開発に加え、地図の高度化や HMI の進化など幅広い研究と国際連携が必要である。中でも、高度化した地図はダイナミックマップと呼ばれ、高精度化した地図というだけでなく、ITS を活用した動的情報をも取り込んだ情報データベースを意味する。我々はITS分野での強みを活かし、世界に先駆けてダイナミックマップの実用化を目指している。

本講演では、SIP 全体及び「自動走行システム」の取り組みについて説明するとともに、本プロジェクトにおける ITS の役割及び期待について説明する。